

News Release

2024年10月31日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2024 年 10 月 17 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、2024-2025 年の自動車カラートレンド予測を発表：コレクションのテーマは「ROUTING」（最適な経路選択）

- 通信技術から着想を得た ROUTING（最適な経路選択）
- 新しいニュアンスを持つレッド、ブラック、メタリックカラーなどで再定義されたカラーパレット
- サステナビリティと機能性が主軸

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、2024-2025 年の自動車のカラートレンド予測を発表しました。

BASF コーティングス事業本部のデザイナーたちは、世界中の自動車デザイナーのインスピレーションとなる新しいカラーコレクションを毎年発信しています。2024-2025 年の自動車カラートレンドのテーマである ROUTING（最適な経路選択）は、通信技術分野の概念であるルーティングに着想を得たもので、情報の伝わり方を意味しています。

BASF 自動車カラーデザインのグローバル責任者であるマーク・グートヤールは、次のように述べています。

「私たちが行ったトレンド観察では、人間あるいは人工知能との間で行われるコミュニケーションや情報の扱い方が、トレンドを牽引する大きな要素であることが分かりました。コミュニケーションは生き生きとし、常に変化し続け、受け手と送り手の相互で受容し合います。まさにカラーも同様です。」

進化するコミュニケーションの特徴を反映

ROUTING は、BASF のデザイン専門家による重要な発信に裏づけられた多様なカラーパレットを通じ、進化するコミュニケーションの特徴を示しています。

今年のトレンドでは、暗い青みがかかったレッドや強い色調のパープルへ変化する、新しいレッドが特徴です。強いエフェクトによるエネルギッシュでダークな無彩色は、ソリッドブラックを超えたダイナミックさを表現します。また、滑らかなメタリックの質感は、特にハイライトの強い輝度が特徴で、メタリックカラーに新たな輝きを与えます。パステルカラーの色域は多様化しています。たとえば、すでに市場には、ベージュやライトグリーンの色域、そして珍しい中間色も見られます。サステナビリティと機能性は ROUTING の中核をなすテーマであり、カラーの開発には再生可能な材料、リサイクル材料やバイオベース材料を使用し、先進運転支援システム向けに最適化しています。BASF のカラートrendは、お客様である自動車メーカーが、新しいモデルのカラーデザインを行う際に活用されています。トレンドの新しい方向性は、今後 3 年から 5 年の間に市場に現れることになるでしょう。

EMEA 地域のキーカラー HARBINGER'S INK(ハービンジャーズ インク)

— サステナビリティに啓発された深いブラック

欧州・中東・アフリカ (EMEA) では、天然資源は有限であるという認識に基づく力強いキーカラーとして、HARBINGER'S INK を提案しています。これまでにないユニークな輝きを放つこの強い色調のブラックは、カーボンネガティブと再生可能な材料、さらに生分解性顔料によって、そのサステナビリティを高めています。

「HARBINGER'S INK は、環境に対する責任を自動車デザインに取り入れることの重要性を象徴するカラーです。自動車に欠かせない基本色をサステナビリティのコンセプトに直接結びつけています。」と、グートヤールは述べています。

アジア太平洋地域のキーカラー SCINTILLATION(シンチレーション)

— 新たな方向を示す持続可能なメタリックカラーコンセプト

SCINTILLATIONの革新的な有害物排出を抑えたベースコート技術によって設計された、スマートで温かみのあるグレーと金属調の質感は、アジア太平洋地域で注目を集めるでしょう。このカラーは、人間と人工知能の未来の親和性を表し、高級車のブランド価値と品質、およびサステナビリティを高めます。

「SCINTILLATIONは、洗練されつつも未来を見据えたデザインへのアジア太平洋地域の要望を捉えています。このカラーは、テクノロジーの進歩と恒久的な価値の双方が共鳴する持続可能な自動車ソリューションで、この地域が注目する高品質の創造と一致します。」と、アジア太平洋地域の自動車カラーデザイン責任者である松原千春は述べています。

米州のキーカラー HOLDING SWAY(ホールディング スウェイ)

— 二つの色相が一つに融合したように見えるカラー

HOLDING SWAYは二つの色相と協調するエネルギーの融合が顕著に現れたカラーです。青みに強く変化する深いパープルの色合いが特徴です。

「社会のさまざまな場面で、多様な影響力が集まり、製品の革新的なソリューションが誕生します。つながりを生み出し相反するものを橋渡しすることで、人々の消費やコミュニケーション、そしてモビリティ体験の方法に新たな機会とゆとりが生まれます。HOLDING SWAYは、透明性のある協調するエネルギーの融合によって、革新的な方法が生まれることの重要性を象徴しています。」と、米州の自動車カラーデザイン責任者であるリジー・マリー・ホフマンは述べています。

コーティングス事業本部の色に対する専門性

BASFコーティングス事業部のデザイナーたちは毎年、産業、ファッション、消費者製品、自然、テクノロジーなどの幅広い分野で将来のトレンドを研究し、表面、テクスチャーや色域の開発の基礎としています。この研究内容は、BASFの自動車業界のお客様と共有され、将来の量産計画を後押ししています。

2024年、BASFがデザインした近年のカラートレンドコレクションのカラー、ZENONMENON(ゼノメノン)とEFFLORESCENCE(エフロレッセンス)の二色が、世界的に権威のあるレッド・ドット・デザイン賞を受賞しました。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF のコーティングス事業部について

BASF のコーティングス事業本部は、革新的な自動車用塗料、自動車補修用塗料、装飾用塗料、メタル、プラスチック、ガラス基板など幅広い産業での表面処理およびそれらの応用に必要なプロセスの開発、生産、販売を行っています。これらのポートフォリオは、新しい市場や事業開発を目指す Innovation Beyond Paint(塗料を超えたイノベーション)プログラムによって提供してまいります。私たちは、先進的なパフォーマンス・ソリューションを創造し、世界中のパートナーのニーズを満たすために、パフォーマンス、デザイン、新しいアプリケーションを推進しています。BASF は、ヨーロッパ、北米、南米、アジア太平洋地域の拠点のネットワークを活用することで、お客様の利益のために、専門的でグローバルなチームのスキル、知識、リソースを提供しています。2023 年における BASF コーティングス事業本部の世界の売上高は約 44 億ユーロでした。

Solutions beyond your imagination(想像をはるかに超えたソリューション)。BASF コーティングスの詳細情報は <https://www.basf-coatings.com> (英語)をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追究しています。また、全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2023 年の BASF の売上高は 689 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com> をご覧ください。